

高齢者看護学特論

単位数：2単位

○原 祥子：地域・老年看護学講座教授

1. 科目の教育方針

高齢者の健康問題に適切に対処していくためには、高齢者看護学に関する基本的な概念や諸理論、健康生活に関する評価方法とその技術を活用し、加齢のプロセスで生じる心身の健康問題と生活への影響について適切な判断と評価を行うことが求められる。高齢者の健康生活を支える看護実践に向けて、高齢者の健康生活上のニーズの査定に必要な理論と方法の修得を目指す。

2. 教育目標

- 1) 高齢者看護学に関する基本的概念や理論について理解する。
- 2) 高齢者健康生活評価の諸側面と視点、評価方法の実際を学ぶ。
- 3) 高齢者の健康生活を維持・促進するための看護援助について検討する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

【評価】

文献抄読レポート、プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

【参考文献】

- 1) E. H. エリクソン, J. M. エリクソン, H. Q. キヴニック：老年期, みすず書房, 1997.
- 2) E. H. エリクソン, J. M. エリクソン：ライフサイクル・その完結, みすず書房, 2001.
- 3) プリシラ・エバーソール, 他：ヘルシー・エイジング, エルゼビア・ジャパン, 2007.
- 4) 鳥羽研二編著：高齢者の生活機能の総合的評価, 新興医学出版社, 2010.
- 5) 鳥羽研二監修：高齢者総合的機能評価ガイドライン, 厚生科学研究所, 2003.
- 6) 安梅勅江：エンパワメントのケア科学 当事者主体チームワーク・ケアの技法, 医歯薬出版, 2004.

5. 教育内容

回	月/日	内 容	講師
1	4/9	老いを生きる人を理解するための理論 ・加齢に関する理論 ・適応とサクセスフルエイジング ・生涯発達理論、ライフサイクル理論	原
2	4/23		
3	5/7		
4	5/14	老いを生きる人々の健康生活を支える看護（1） ・高齢者の全体論的視点、高齢者看護の定義	原
5	5/21	老いを生きる人々の健康生活を支える看護（2） ・「老いを生きること」に関する文献 ¹⁾²⁾ の抄読 （プレゼンテーションと討論）	原
6	5/28		
7	6/11		
8	6/18	高齢者の健康生活評価に関する理論と方法 ・高齢者総合評価（CGA）の背景と意義、構成とプロセス	原
9	6/25	高齢者の健康生活に関する評価（1） ・身体機能（ADL・IADLなど）、精神機能	原
10	7/2	高齢者の健康生活に関する評価（2） ・生理機能、感覚機能、認知機能	原
11	7/9	高齢者の健康生活に関する評価（3） ・主観的健康感、幸福感、生活満足度、QOL	原
12	7/16	高齢者の健康生活に関する評価（4） ・環境の快適性と安全性、社会関係 （住環境、ソーシャルネットワークなど）	原
13	7/23	高齢者の健康生活に関する評価（5） ・家族機能（介護負担など）	原
14	7/30	高齢者の健康生活支援に向けて ・エンパワメントの概念とその適用、評価指標	原
15	8/6	高齢者の健康生活アセスメント（事例検討：思考プロセスの明確化） 高齢者の人権と権利擁護（健康生活を営む権利と自己決定）	原